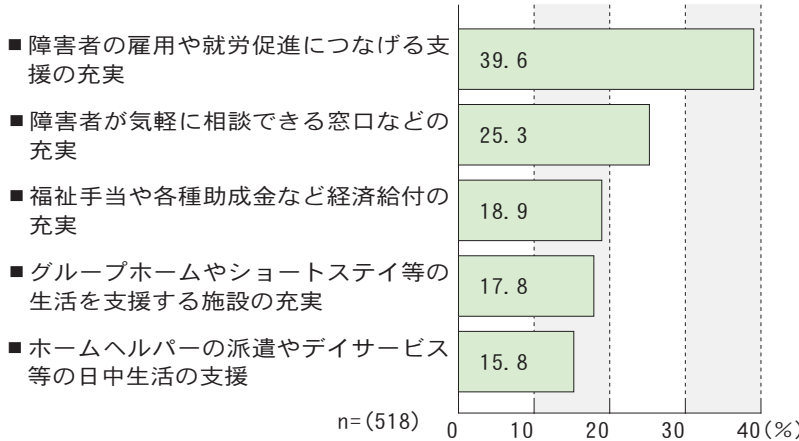


■ 障害者福祉施策

今後必要な施策として、「障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実」39・6%が最も多く、「障害者が気軽に相談できる窓口などの充実」25・3%などが続いています。

問：今後どのような障害者福祉施策が必要と思いますか。  
(回答は2つまで・上位5項目)

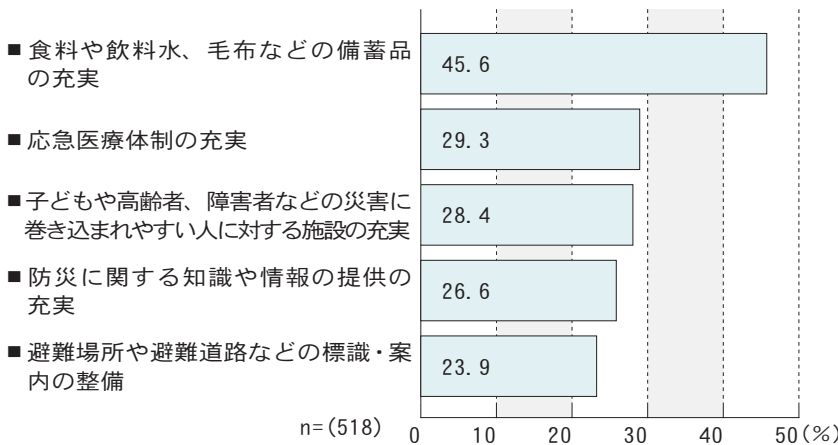


◆ 防災・防犯対策

■ 防災対策での重点施策

「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」45・6%、「応急医療体制の充実」29・3%が上位を占めています。

問：防災対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものは。  
(回答は3つまで・上位5項目)

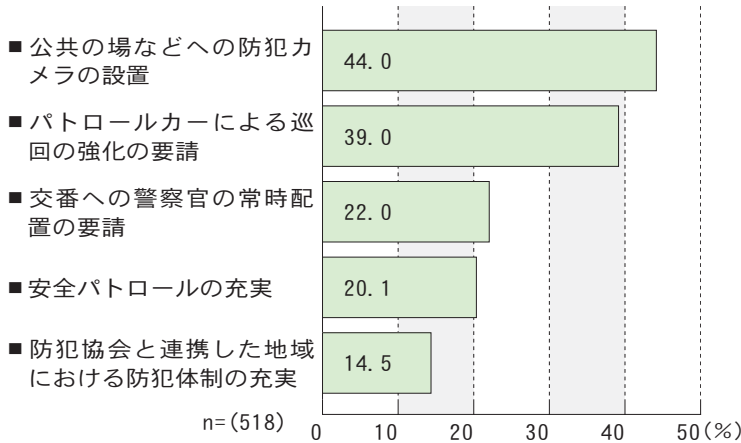


■ 防犯対策での重点施策

「公共の場などへの防犯カメラの設置」44・0%、「パトロールカーによる巡回の強化の要請」39・0%が上位を占めています。



問：防犯対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものは。  
(回答は2つまで・上位5項目)



◆ 都市基盤

市の都市基盤整備に望むことについては、「バリアフリーのまちづくり」35・5%、「市街地の整備(土地区画整理事業・市街地再開発事業など)」27・4%、「道路の整備」27・0%が上位を占めています。以下、「公共施設の計画的整備」16・2%、「住宅環境の整備」13・7%と続いています。

◆ 男女共同参画

男女の平等感では「平等になっている」と答えた人では、「学校教育の場」が61・2%と多く、次に「法律や制度の上で」42・5%、「地域活動の場」40・7%となっています。平等感が低いのは、「社会通念や慣習で」や「政治の場」が20%を切っています。「女性が職業を持ち続けるために必要なこと」の回答では、「家族の協力」53・5%が最も多く、次に「働きやすい職場環境づくり」が46・1%となっています。

調査集計結果について詳しくは、市公式サイト、図書館および市役所1階市政情報コーナーで閲覧することができます。

3月11日(金)〜17日(木)は

# 羽村市防災週間



東日本大震災から5年が経とうとしています。いつ発生するかわからない災害のために、どのように防災意識を持ち、備えることが必要なのか。市では、東日本大震災の記憶を風化させないよう、3月11日に合わせ羽村市防災週間を設定し、講演会や企画展、防災バスツアーなどを行います。この機会に、家族や地域の防災・減災対策について考えてみませんか。

問合せ 危機管理課危機管理係 217

## 防災講演会 「その時のために」

### 〜金石市の防災教育から学ぶ地域の防災力〜

東日本大震災の津波により大きな被害を受けた岩手県釜石市では、ほぼ全員の小・中学生が自主的な避難行動で助け合い、自らの命を守りました。

長年、釜石市の防災教育に取り組むほか、各地で防災活動を展開している片田敏孝さんをお迎えし、講演会を行います。

日時 3月13日(日)午後2時〜4時

会場 ゆとろぎ小ホール

定員 250人(先着順)

入場料 無料

一時保育 対象：1歳6か月〜未就学児／定員：5人(先着順)／費用：50円(おやつ代)

申込み 2月29日(月)までに、電話または

【講師】 <sup>かた</sup>片田 <sup>とし</sup>敏孝さん

群馬大学大学院教授(専門：災害社会学)。災害への危機管理対応、防災教育、避難誘導策のあり方などを研究するとともに、内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめとする国や外郭団体、地方自治体の委員会・審議会に携わり、防災行政の推進にあたる。平成24年に防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞。



Eメールで危機管理課危機管理係 217へ [s106010@city.hamura.tokyo](mailto:s106010@city.hamura.tokyo) (電話の場合は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分〜午後5時)

## 企画展

### 〜3・11あの日を忘れない

#### 東日本大震災〜

金石市や大槌町など被災地の写真を展示するほか、「東日本大震災 激震と大津波の記録」映像の上映、家具転倒防止器具や非常食・100円防災グッズの展示などを行います。

日時 3月11日(金)〜17日(木)(3月14日(月)を除く)の午前9時〜午後5時  
会場 ゆとろぎ展示室  
※直接会場へお越しください。

## 防災バスツアー

### 公共施設見学会

### 防災関連施設編

市内の防災関連施設をバス・徒歩で見学します。応急給水施設や備蓄倉庫、マンホールトイレなどの見学のほか、非常食の試食もあります。

日時 3月12日(土)午前9時〜午後0時30分ごろ(小雨決行)

集合・解散場所 羽村市役所

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 24人(応募多数の場合は抽選)

参加費 無料

申込み・問合せ 2月29日(月)午後5時(必着)までに、市役所1階案内・3階広報聴課、市役所各連絡所、各公共施設で配布する申込用紙に必要事項を記入し、郵送・ファクス・Eメールまたは直接羽村市広報広聴課広報係 337ヘ 〒205

#### ■見学場所 (天候により変更の場合あり)

①	東京都小作浄水場 応急給水施設の説明
②	西部備蓄倉庫 備蓄物資の説明・非常食試食など
③	羽村市消防団第五分団車庫 消防車・装備品、活動の紹介など
④	羽村西小学校 備蓄倉庫・マンホールトイレ見学など
⑤	踊子草公園付近 土砂災害(特別)警戒区域の説明
⑥	羽村市浄水場 給水拠点・膜ろ過施設の見学
⑦	浸水想定区域 大雨・増水時の注意点など
⑧	武陽ガス(株)羽村供給センター 緊急時の保安体制・ガスタンク見学など

※申込用紙は、市公式サイトからダウンロードすることができます。

